

# Cover Presentation

表紙プレ  
ゼンテー  
ション

## 周遊バスのネットワークで ディープな金沢へ



犀川河畔を眺める場所に住んでい  
る。対岸の桜並木の間に犀星文学碑  
が望める。「金沢周遊バス」の鮮やか  
な色彩が、時折通りすぎていく。路  
線バスに見放された場所なので、た  
まに周遊バスでまちなかに出る。車  
内はいつも観光客で盛況だ。車内が  
静かなひととき、観光客と話しに興

じることもある。  
はじめての街を訪れたとき、交通  
機関としての路線バスは、とても使  
えなかった。路線図を手にし  
ても、複雑に絡み合った系統図は、  
パズルのように頭を悩ませる。もち  
ろん路線バスは主に通勤・通学のた  
めにあり、最短距離を走り、放射状

に広がる。これに対して、周遊（L  
OOP）バスにはゆっくりだが、確  
実に目的地に連れていってくれる、  
優しさと分かりやすさがある。だか  
ら、混雑を我慢しながら観光客は乗  
り合っているわけだ。  
現在、金沢にはL O O Pバスが7  
ルートある。地図に落とし込んでみ  
た。凄い。旧市街がほとんど網羅さ  
れている。こんな街は他にないので  
はないか。しかし、その実感が感じ  
られないのは、各々  
のL O O Pが個別の  
運営（料金）になっ  
ているからだろう。  
観光、コミュニケーション、  
商業振興、運営には  
それぞれの論理はあ  
ろう。でも、ユーザ一  
にとつては、これだ  
けのネットワークが  
自由に使えればいい  
だけの話だ。共通パ



金沢のL O O Pバスの路線図（作図は筆者）

- 小ち、セバス 此花ルート
- 小ち、セバス 富田ルート
- 小ち、セバス 材木ルート
- 小ち、セバス 聖町ルート
- 小ち、セバス 宝珠閣遊
- 蓮六園シャトル
- まちバス(まちびんご)

スでL O O Pのネットワーク  
を乗り放題。これがひと通り  
の観光ではない、生活の息づ  
かいを感じられるディープな  
金沢に我々を連れていってく  
れるはずだ。●

松本大  
Text by MATSUMOTO Dai  
建築家  
都市環境マネジメント研究所 研究員  
松本大建築設計事務所 代表